

## 第22回しながわ平和のための戦争展開催にあたって

地域から、子どもの目線から戦争の真実を伝え続けてきた『戦争展』は22回目を迎えました。戦後60年。戦争の恐ろしさが遠くなり、語り継ぐ人も高齢化のなかで、今、戦争体験を伝えることの大切さを感じています。今回の展示では、絵で、写真で、実物で、語りで、戦争を考えました。『戦争の真実を見つめ、戦争への道を繰り返さないために』一歩をふみだすきっかけになればと願っています。

8月13日(土) 午後1時30分～午後3時30分

\* コカリナ演奏<品川コカリナアンサンブル>

「竹田の子守唄」「童神」「アメイジンググレース」「ふるさと」

\* 朗読 朗読集団「風」『この子たちの夏』被爆60年にあたって……

\* トーク 『学童疎開体験』

・柳瀬峰雄さん(浜川)

・堀江 勲さん(伊藤)

・中野登美子さん(宮前)

・菊池 孝夫さん(伊藤)

・菱山 忠弘さん(伊藤)



8月14日(日) 午後1時30分～午後3時30分

\* 歌 <品川うたう会>

「いぬふぐり」「折り鶴」

\* トーク 『空襲の体験を語る』

・安藤豊司さん

・今関千代さん

・伊藤茂雄さん

・飯田吉利さん

・立麻裕繪さん



小島義一氏が描く**絵で見る城南空襲** 14日(日)・15日(月)

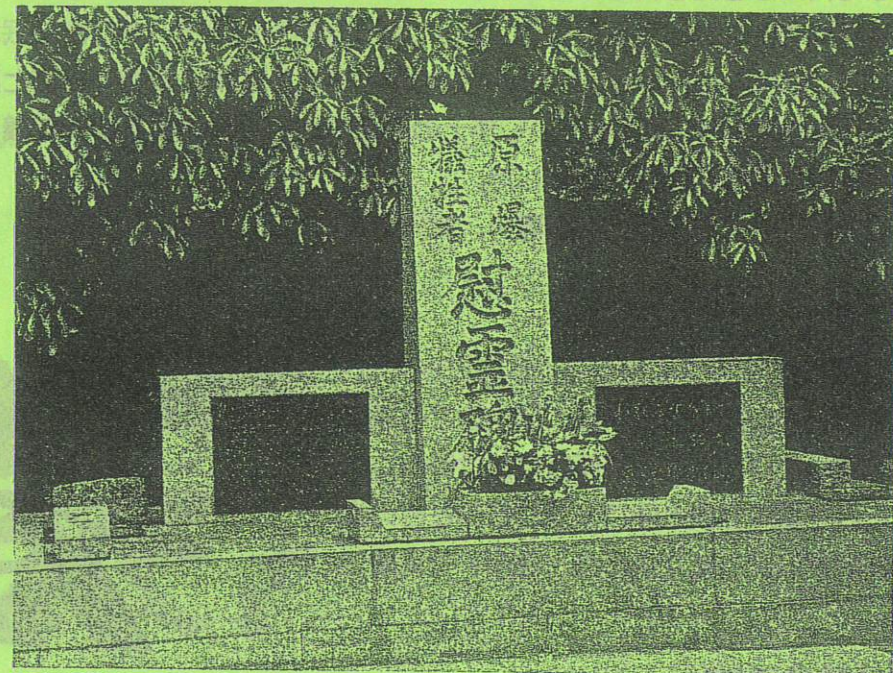
戦争中の旧荏原区は、消失面積は97%で、都内第1位でした。

小島さんは、現在小平にお住まいになっていますが、戦争中、西中延(今の旗の台付近)に住んでいらっしゃいました。品川の空襲体験を絵に残そうと以前から考えていたが描けず、6年前からやっとの思いで、描き始めたそうです。空襲で亡くなった多くの方々への哀悼と平和への思いを込めて描きためた絵を今年まとめて「しながわ平和のための戦争展」に寄贈してくださいました。約60枚に及び品川の空襲の絵を今回は一堂に展示したいと考え14日と15日は、「絵で見る品川の空襲展」としました。1度戦争展を見た方ももう一度足を運んでください。

しながわ 2005年 第22回

# 平和のための戦争展

見つめよう戦争の真実を一繰り返すまい戦争への道—



東海寺の原爆慰霊碑

とき 8月11日(木)～13日(土) 平和のための戦争展

8月14日(日)～15日(月)絵で見る品川の空襲展

10時～19時(13日から15日は18時まで)

ところ 品川区民ギャラリー(イトーヨーカドー大井町店8階)

大井町線 大井町駅1分

主催 しながわ平和のための戦争展実行委員会

連絡先 03-5742-7563(西條) 03-3727-8382(扇谷)

## 核兵器の廃絶をめざして

今年は被爆60周年。アンケートによると今なお被爆者の多くが健康の不安を抱え、心に傷を抱いて生活しています。去る5月に開かれた核不拡散条約検討委員会議は、核兵器廃絶に向けてさらなる前進をとるわけにはなりませんでしたが、世界の大多数の声は核廃絶を求めています。「被爆者の心を受け継ぎ責任と行動を」(広島平和宣言) 共に考えて生きたいと思ひます。

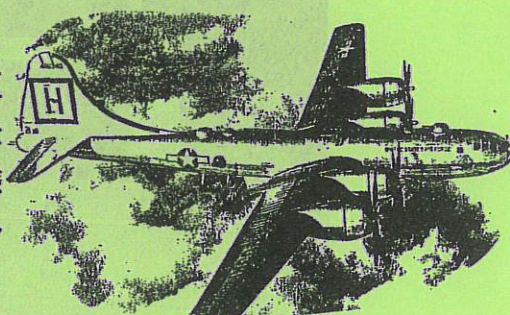
## 戦争と子どもたち

今の平和な時代には考えられないほど戦争は、わたしたちの日常を奪います。小さな子どもや疎開できなかった子たちは、激しくなった空襲の中で、おちおち眠れない夜を過ごし、国民学校初等科(今の小学校)の子どもたちは学童疎開で家族と離れ辛い経験をしました。そして、もう少し年上の子どもたちは勤労動員や少年義勇軍などで大人と同じように働かされました。

さらに、戦争は、子どもたちの命を奪い、親兄弟を奪ったのです。

## 城南空襲—品川・東京—

品川は、1945年5月24日から25日にかけて大きな空襲を受けました。戦争中は、品川区と荏原区に分かれていましたが、特に旧荏原区は焼け野原になりました。これを城南空襲と呼びます。このときの様子を地図と体験者による絵(小島義一さん)で実感してください。



## 城南地域の戦争遺跡

1945年戦争の爪あとには現在にも残っています。今年5月に行なった「品川戦争遺跡ツアー」を中心に品川周辺に残る空襲の後、原爆の慰霊碑などを紹介します。

## 満蒙開拓団と中国残留孤児

1931年の柳条湖事件(満州事変)をきっかけに日本は、中国へ本格的な侵略を進めた。そして、27万人もの国民を「開拓民」として中国東北部へ送り込みました。1945年、敗戦した日本軍は、開拓民を残したまま中国から引き揚げてしまい、残された開拓民の逃避行は悲惨なものでした。中国残留日本人孤児問題の発生と現在を考えます。

## 侵略戦争と教科書問題

今、教育委員会によって2006年度から使われる中学校教科書の採択が行なわれています。歴史、公民では、侵略戦争を正当化、賛美する「つくる会」(扶桑社)の教科書が検定に合格し、アジア諸国からの大きな批判をあびました。教科書の記述はどうなっているのか、21世紀アジア諸国との友好関係を築いていくために、教科書の内容について考えて生きたいと思ひます。

## 日本国憲法と平和

「日本国憲法」って読んだことがありますか?第二次世界大戦で負けるまで日本はたくさんの戦争をしてきました。この憲法ができてからは1度も戦争をしませんでした。

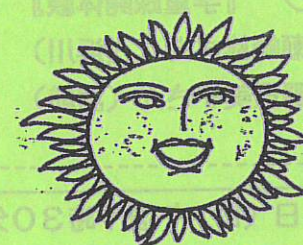
この憲法を変えたいという人たちがいます。

なぜ?どこを、どう変えるのか?

この憲法を守ろうという人たちがいます。

なぜ、守ろうとしているのか?

一緒に考えてみませんか?

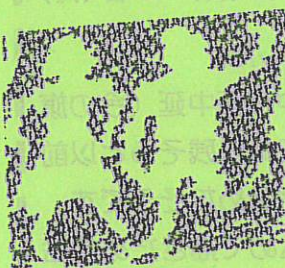


## 戦争をしない国であり続けるために

一緒に考えてみませんか?平和を守る取り組みはいろいろあります。ひとり一人ができることで一歩を踏み出しています。「無防備平和条例」って知っていますか?「9条をまもる」ためのいろいろな「一歩」があります。

## イラク戦争と子ども

私たちと同じ人間が、同じようにイラクで暮らしています。そんな日常生活の中に突然おそった爆撃で子どもや家族が死んだり、ケガをしたりしています。家や学校や病院が壊されてしまった。そんな中で、子どもたちは平和な生活を求めています。病院では満足な治療も受けられず死んでしまう。学校がないから、通えない。食事でも満足に食べられない。でも、子どもたちは希望を失いません。どんなときでも現実の中から未来を見続ける子どもたちがいます。



## 実物が語る戦争

戦争中、どんな生活をしていたのでしょうか。百聞は一見に如かず。実物が訴える声を聞いてください。